

新理事会が発足

理事長	森本 靖一郎
学長・理事	河田 悌一
常務理事	池内 啓三
理事	愛知 和男 (元国務大臣・ 法学部客員教授)
同	石川 昌司 (公認会計士)
同	上原 洋允 (校友会会長・弁護士)
同	大 鷹 征次 (内部監査室長・ 教育後援会幹事長)
同	小幡 斉 (副学長・工学部教授)
同	加勢田 博 (副学長・経済学部教授)
同	片山 久江 (弁護士)
同	小坂 道一 (会社役員)
同	永田 眞三郎 (法学部教授)
同	野村 明雄 (大阪商工会議所会頭)
同	増地 英一 (創立120周年記念事業局長・ 校友会事務局長)
同	山縣 平蔵 (会社役員)
監事	一軸 浩幸 (弁護士)
同	寺内 俊太郎 (会社役員)
同	山田 拓幸 (公認会計士)

理事長に森本靖一郎氏が就任

10月1日開催の臨時評議員会および理事会において任期満了に伴う役員を選任が行われ、理事長に森本靖一郎氏が、常務理事に池内啓三氏がそれぞれ選任された。任期は平成16年10月1日から4年間。



理事長 森本 靖一郎氏

八十四年から評議員、十二年理事、常務理事を経て、二〇〇〇年十月から専務理事に就任し、学校法人の財政基盤をより確固たるものとし、教育環境の整備充実を図り、魅力ある学園づくりに努めてきた。

また、日本のインターネット幹線と本学との接続のため、当時の専務理事として最大の情熱をもって取り組み、昨年度、本学は悲願のスーパーLINEET接続拠点校に選定された。

「教育職員には教育研究に専念していただき、それを学生の教育に有効適切に反映していくのが教育研究機関である大学の目的」と公言し、その遂行に向けて法人経営の取組を担う「エネルギー」な行動力と仕事への情熱は、教職員と学生への情熱は、教職員の「親和」を束ねる、燃えるような愛校心が、年毎に待つ創立百二十年を超えて、生まれまたそれらの取り組みは、いま後援会活動の根幹をなしている。

プロフィール
一九三三年十月、奈良県の生まれ。畷傍高校を経て関西大学に入学。文学部国文学科と法学部法律学科を卒業後、母校に奉職。六十七年に関西大学教育後援会幹事長に就任し、「大学と家庭のかけ橋」のモットーを掲げ、教育後援会の充実と発展に心血を注いできた。

燃えるような愛校心をもって
「子供の母校は我が母校」という強い愛情を父母が本学に抱くことを願い、大学と父母との間に信頼の絆を構築したい。いま、父母の一日大学と称される「一日大学」と呼ばれる。また、教えるものと学ぶもの、堂に会って問の経験を経て、教示し、やることも度々であった。新理事長の卓越した発想力から生まれたそれらの取り組みは、いま後援会活動の根幹をなしている。

第2学舎4号館が竣工



本学創立百二十年記念事業および経済学部・商学部創設百周年記念事業の一環として工事が行われていた、第2学舎4号館の竣工式が九月七日(火)に挙行され、羽間平安理事(当時)、河田悌一学長をはじめ、大学および工事関係者ほか来賓を含め約百五十人が出席し、建物の完成を祝った。

この建物は、第2学舎2号館の一部であったC30教室部分を取り壊し、その跡地に地上四階の学舎を建設したもので、2号館とは各階で接続されている。

一階のシアターホール、E1EGホール、100は三階まで吹き抜けの大空間になっており、一階七百四十八席、二階、百五十四席の千二百二人収容の大ホールである。

法学部	学部長	大沼 邦博
学部長代理	教授	寺島 俊穂
学部長	教授	大津留留恵子
学部長代理	教授	小泉 良介
学部長	教授	山本 慶介
学部長代理	教授	佐伯 和也
学部長	教授	市川 訓敏
学部長代理	教授	芝井 敬司(再任)
学部長	教授	田中 俊也
学部長代理	教授	奥村 佳代子
学部長	教授	興与 純
学部長代理	教授	中澤 務
学部長	教授	鍋島弘治朗
学部長代理	教授	本村 康哲
学部長	教授	森岡 孝二
学部長代理	教授	植村 邦彦
学部長	教授	橋本 宏一
学部長代理	教授	坂根 恭之
学部長	教授	浜野 潔
学部長代理	教授	葺里 竜
学部長	教授	竹下 公視
学部長代理	教授	鶴田 廣巳
学部長	教授	水野 一郎
学部長代理	教授	松本 祥尚
学部長	教授	徳永 昌弘
学部長代理	教授	片岡 進
学部長	教授	徳常 泰之
学部長代理	教授	神 信夫
学部長	教授	松原 一郎
学部長代理	教授	永井 良和
学部長	教授	高瀬 武典
学部長代理	教授	大 介

新役職者決まる

新しく大学の役職者が決まり、10月1日付で次のとおり発令された。

入試主任	教授	吉岡 至
学生主任	教授	池内 裕美
学生相談主任	教授	遠藤 由美
総合情報学部	学部長	加藤 隆(再任)
学部長代理	教授	北島 治
学部長	教授	辻 光宏
学部長代理	教授	岡田 晃一
学部長	教授	西田 昇
学部長代理	教授	岡本 昇和
学部長	教授	堀村 尊
学部長代理	教授	伊藤 俊秀
学部長	教授	土戸 哲明
学部長代理	教授	前田 裕
学部長	教授	小田 廣和
学部長代理	教授	三宅 徳和
学部長	教授	村中 豊
学部長代理	教授	西山 淳志
学部長	教授	伊藤 淳志
学部長代理	教授	宇佐見太市
学部長	教授	山本 英一
学部長代理	教授	菊地 敦子(再任)
学部長	教授	高橋 秀彰
学部長代理	教授	栗田 隆
学部長	教授	藤原 隼弘
学部長代理	教授	藤原 真
学部長	教授	岩佐 代市
学部長代理	教授	笹倉 浩史
学部長	教授	橋本 清彦
学部長代理	教授	雨宮 俊彦
学部長	教授	土戸 哲明
学部長代理	教授	内山 寛信
学部長	教授	吉田 宏(再任)

HEADLINE

8 6 4 2
面 面 面 面
特集 特集
秋たけなわ、小さい旅見つけた

新役職者紹介
来年度学部入学生の学費について

メディアは私達の時間と空間の感覚を繋ぐ。村に水道が整備される。水汲みや洗濯のために井戸に集まって時間話をする。かたがた井戸会議はテレビのワイドショーにその場を移すことになった。今日のオリンピックはテレビを通じて世界の多くの人々が注目するスポーツの祭典というのにもはや常識になっている。なかには夏の観戦ツアーで聖地アテネを訪れ、スタジアムの観客の心になった人もいた。これと輪送メディアと旅行会社のおかげである。日本列島のオンラインはメタルラッシュに沸き、猛威を振るう台風のごとく、歓喜の渦が起り、情熱の嵐が吹き荒れた。テレビの生中継は深夜もゴール生中継タイムなみの視聴率を弾き出していたから、熱心な観戦は自ずと睡眠不足に陥るとなる。祭りあつと、夏が終わり秋の夜長。テレビと都会の喧嘩を離れ、愛読書を携えて、鄙辺の温泉場までひとり活字の濡るのもまた一興ではないだろうか。日常とは違う時間と空間に出会えるはずだ。(吉岡 至)

大沼邦博教授は、一九七一年京都大学法学部を卒業、引き続き同大学院に進み、七十七年本学助手に任用された。専攻は労働法である。学界では、戦後主流派を形成した労働法学の最良の部分の継承者として確かな地位を占めている。実定労働法の歴史的な性格や基本原理にまでさかのぼって展開される精緻な解釈理論や立法政策論は、説得力に富み、立場の異なる研究者からの評価も高い。主著は「集団的労働法の数少ない本格的体系書



大沼 邦博 法学部長

改革へ指導力発揮を

の「労働団体系上巻」(青林書院刊)恩師の片岡大文教授との共著)であり、下巻の早期刊行を学会関係者一同が切望している。大沼委員委員長、自己点検・評価委員長、自己点検・評価委員長、法政研究科長等の要職を歴任し、特に研究科長在任中には、特に研究科長として大改革を実現している。研究科長から法学部長へと真の連続となるが、もはや待つたなしの法学部改革への指導力の発揮を法学部関係全員が期待している。

圧倒的な支持を受けての再任である。この間の文学部の総合人文学科への改編、プロジェクト人事や学校インフラの推進といった際立った手腕への評価の反映であることも、二〇〇六年度迎える本格的な改革への期待のあらわれである。



芝井 敬司 文学部長

抜群のリーダーシップ

本学に着任して二年(この間部長代理(二年)、二年間)、文学部部長兼想委員会委員長、全学自己点検・評価委員会委員長および副委員長などを歴任、堅実な手腕で学内での評価はきわめて高い。専門は西洋近代史学史・モンテスキューからアノール派と守備範囲は広いが、とくにギボンの研究が中心。昨年、長年の成果を学位論文として提出、博士(文学)の学位を授与された。一言いで「スマート」その論議・容貌はもろろん、議論の進め方、総括の仕方、学生との接し方など、どれをとってもスマートである。加えて有言実行、リーダーシップは余人の追随を許さない。新しい執行部のメンバーとともに文学部の軌取りへの期待は大きい。

教授は、時代を読み積極提言の基礎に、現代資本主義論、株式会社論、企業社会論、労働時間論に関する膨大な研究がある。代表的なものに限っても四冊の単著と四冊の共著があり、共編著、訳書、論文、時評の数は驚くほど多い。



森岡 孝二 経済学部長

時代を読み積極提言

教授は授業も評判がよく、森岡先生は毎年希望者が殺到する人気者である。教授のHPも見せ玉である。教授の経験と指導力は、経済学部の改革のみならず大学全体の進路にも貢献するはずである。

新 役 職 者 紹 介

アカウンティング・スクール創設にむけて、学部にあっても大きな改革が遂げられないなかでの学部長就任。本人は、気負いこそなく目標にむかって奮励し、歩みを進めるのみ、との弁。大沼、学部間の競争が熾烈にならぬように、改革倒れにならないようにに配慮を要する。か、その手腕に期待がかかる。



鶴田 廣巳 商学部長

着実な歩み、質実剛健

学経済学部を卒業後、一九七六年京都大学大学院博士課程単位取得、翌年、大阪経済大学大学院に赴任、同大学教授を経て、一九九九年に本学に着任。専門は財政学、租税論、日本財政学会、日本租税理論学会理事等。昨秋まで、年間、関西大学在外研究員として、ケルン・カトリック大学(ベルギー)でクロハリゼーション時代に於いて研究を深めていたが、今度は一転して学部運営の中心に役割を、ことごと当たった。この判断は慎重な半面、決断後の実行は早急。性格は質実剛健、改革の時代に打ってつけの人である。

本学大学院に在学、博士課程単位取得。また、フルブライト奨学生として、ウィスコンシン大学で、福祉社会学を専攻。研究分野は、高齢社会論をはじめ、社会政策、ケア・サービス論等。応用社会学としての社会福祉のポリシー・プランニングを探索している。研究の実践として、兵庫県長寿社会を研究機構の主任研究員を歴任し、尼崎市長社会福祉協議会会長など、国・自治体・公益法人の公職も多く、「医療・保健・福祉計画」、「震災



松原 一郎 社会学部長

行政計画推進に活躍

再任された加藤隆先生は、総合情報学部の教員の中でも、ひととき温厚な先生として知られている。やせし顔の認知科学者の第一人者であり、本人が研究成果そのものであるのか、生来の紳士なのかは、定かでない。しかし、アルコールは不得手であるとの、喫茶店での甘いケーキを食しながら、素朴な酒を連発する際の、少年時代を回顧させる笑顔からすると、後者はあると判断したい。先生は、アメリカの UCLA



加藤 隆 総合情報学部長

温厚篤実、ユーモアも

で PhD を取得、日本 IBM 研究所での研究活動や YND 大学理学部での教鞭生活の後、A 大学人間情報通信研究所に招聘研究員で滞在し、九十四年に本学に着任。コンピュータに接する人間情報処理の潜在特性研究という学部のコア・リテラシーの高い領域が、研究対象である。相談に来る若者が絶えずいる。柔和な表情で助言を送るのを常とする。大変な生活を続けていたが、酒落た素振りには変わらな。酒落た学部への軌取り役を、今後大いに期待している。

大学を取り巻く環境は厳しく、早急に取り組まなければならぬ問題が山積している。工学部においても、学部と大学院の一体化を図るなど、改革が進められているが、魅力のある工学部を創成するために、より一層の改革推進が求められている。新学部長に就任した土戸哲明教授は、一九九〇年、大阪大学から本学に着任した。非常に温厚で、実直な人柄で、学会の理事や支部長を務めるなど、人望も厚い。これまでに、学生部長



土戸 哲明 工学部長

温厚で実直、厚い人望

代理、工学研究科長代理を歴任し、工学研究科改革にその下地を築くなど、持前の実行力を遺憾なく発揮している。専門は生物制御工学であり、食品、医薬、医療環境における微生物の生育、生存のコントロールを目的に、基礎的解析とその応用について研究している。工学部の運営においても、様々な状況に応じた綿密な解析と的確な「工学部発展に向けた改革」への取り組みが大いに期待される。

一九五〇年二月、愛知県宮市生まれ。出身学部は宗良教育大学。大学院修士課程は大阪教育大学。大学院博士課程修了。大阪教育大学、近畿大学専任講師・助教。授を十年間務めた後、本学文学部助教授となり、一九九二年文学部教授に昇任。若い時「ライオン」の作品読解や文芸雑誌の編集といった文学三昧の毎日を送ったが、総合情報学部創設に力を入れたのを契機に、また四回の学内移籍を経験する中で、外国語教育の大



宇佐見 太市 外国語教育研究機構長

言語と文化に情熱

吉田永宏教授は、人権問題研究室長をすでに三期務めてきた人である。この間、研究室開設十五周年記念の国際シンポジウムの開催、公開講座開講十周年記念行事、関西大学吹田市民人権講座の開催など、研究室の発展に大きな実績を挙げている。この成果は、研究室の活動が、国際的なレベルで、また吹田市民との結びつきという地域との関係においても、めざましく発展していることの証である。



吉田 永宏 人権問題研究室長

行動する文学研究者

吉田教授の専攻は近代文学で、常に人間性と現代を軸に研究を進めており、最近の論文でも、小田実、田中康夫、金時鐘など阪神・淡路大震災をテーマに文学と現代社会のかわりについて検証された。部落問題や在日問題、沖縄問題など現地調査に積極的に出かけているが、旺盛な行動力と研究を支えている。鋭い批判精神と豊かな人間性と活発な行動力を兼ね備えた吉田教授のリーダーシップが大いに期待される。

学位取得

学位記授与式が、九月二十五日(土)関西大学周年記念会館で行われ、次の九氏に関西大学から学位が授与された。

【課程博士】
中村 善雄(博士・文学)
「ヘンリー・ジェイムズの諸作品にみる表象文化と服差しの政治学」
木村 知実(博士・文学)
「魯迅と美術」
「魯迅と美術」
「謝水心 アフリカ留学時代の研究」
「謝水心 アフリカ留学時代の研究」

【論文博士】
藤田 東(博士・法学)
「日本近世幕藩体制制約の政治思想 人倫的世界の法を軸にして」
小谷 利明(博士・文学)
「戦内戦間期期と地域社会 下村 作次郎(博士・文学)」
「台湾近代文学の諸相 1920年から1949年」
林 英夫(博士・社会学)
「郵送調査法」

大学トピックス

関西大学と吹田市の地域連携に関する協定を締結。八月五日、阪口善雄吹田市長と河田裕一学長との間で、地域連携に関する基本協定の調印が行われた。この協定は歴史的・文化的資源の活用および知的・人的資源の交流を図ることに、より産業、教育、文化、まちづくり等の分野において、双方の発展と充実に寄与し、地域連携を積極的に推進することを目指すとしている。具体的には、市や地元企業とのインターンシップ学生の受け入れ、学生を市内の小中学校にスクールボランティアや学校イーターニッシュとして派遣、大学主催による市民向け各種講座の開講等の事業を推進する。さらに、ベンチャービジネスの育成、市職員を大学院へ受け入れ、学生のアイデアを取り入れた産業活性化策の検討等、様々な連携協力を推進していく予定である。

これは関西の四私立大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学が、それぞれ、関西の気風・伝統・個性を生かす、関西に内在する「ハイ」を舞台に引き上げていくことを目的として実施するものである。四大学の学長による「パナレータ」による講演を予定している。詳細は本学ホームページ上に掲載する。

「近世蝦夷地の水産業の地域的展開と地域の形成」
小樽 雅章(博士・社会学)
「企業の向社会的経営を促進する要因の研究 企業と市民・消費者との社会的相互作用を軸にして」
【論文博士】
藤田 東(博士・法学)
「日本近世幕藩体制制約の政治思想 人倫的世界の法を軸にして」
小谷 利明(博士・文学)
「戦内戦間期期と地域社会 下村 作次郎(博士・文学)」
「台湾近代文学の諸相 1920年から1949年」
林 英夫(博士・社会学)
「郵送調査法」

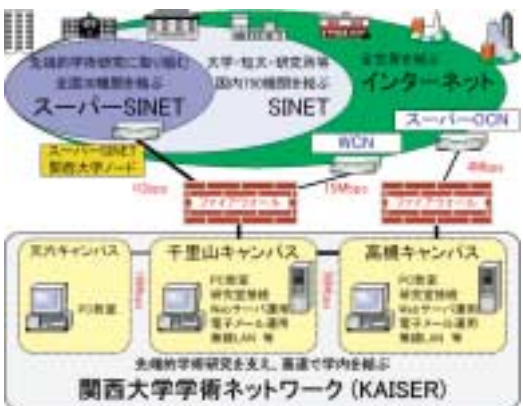
全国30機関に超高速接続

先端的学術研究さらに向上

本紙百十号で既報の I S I N E T の運用開始とあり、本学は、平成十六年度新規設置スーパーSINETに接続拠点機関に選定され、十月一日からスーパーSINETに接続された。接続拠点は全国三十機関、国立十五研究機関、私立十五研究機関、超高速ネットワークを活用して、分散型共同研究や大容量データの共有・活用等が可能になり、本学の先端的学術研究のさらなる推進が図られ、わが国の先端的学術研究に大いに貢献することとなる。

文部科学省国立情報学研究所が運用する「SINET」は、昭和六十二年に運用開始し、国内の大学・短期大学・研究機関等約七百五十機関(平成十六年二月現在)を高速通信回線で接続する、学術情報ネットワークである。

スーパーSINET運用開始



関西大学学術ネットワーク (KAISER) 先進的学術研究を支援、高速で学内を結ぶ



ソシオネットワーク戦略研究センター

	接続前	接続後
SINET・千里山キャンパス間	15Mbps	1Gbps
千里山キャンパス・高槻キャンパス間	50Mbps	1Gbps

1Gbpsは1000Mbps

新たなネットワーク展開として生まれた「スーパーSINET」は、三年の計画で平成十六年三月に発表された「Japan重点計画」に採り上げられた。毎秒十億の超高速インターネット幹線(バックボーン)で、平成十四年から国立情報学研究所が運用している「スーパーSINET」が対象となる。

本学の教育プロジェクトが

文部科学省 教育支援プログラムに採択

文部科学省において、特に優れた教育プロジェクトを選定し、重点的な財政支援を行うことにより、高等教育の活性化を促進するとを目的として各種の教育支援プログラムが実施されている。

本学は、今回各プログラムに計三件(共同申請を含む)のプロジェクトが採択された。プロジェクト内容は以下のとおりである。

このプロジェクトは、Webビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

このプロジェクトは、W ebビデオ会議システムにより司法過疎地と法科大学院を結び、リーガル・クリニックの地方展開

第2回国際会議開催

国際学会を設立

関西大学ソシオネットワーク戦略研究センター(セ)は、七月十四日、Marshall Van Alstyne教授、Philip M. Papadopoulos、カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)のRobert C. O'Neil、研究班長等の研究者を迎え、インターネット・グリッドコンピューティングの政治経済学と題した国際会議を開催した。

本学では、先端科学技術推進機構(産学連携センター)を設立し、研究成果の社会への還元を目的に産学連携事業を進めている。この

本学では、先端科学技術推進機構(産学連携センター)を設立し、研究成果の社会への還元を目的に産学連携事業を進めている。この

産学連携オフィス

東大阪サテライト開設



産学連携オフィス(東大阪サテライト)を開設した。本学では、先端科学技術推進機構(産学連携センター)を設立し、研究成果の社会への還元を目的に産学連携事業を進めている。この

地方教育懇談会を開催

全国15都市

- 開催日・開催地・出席者数は、次のとおり。
- 八月一日(日) 福岡市 一六五
- 八月二日(月) 高松市 一五一
- 八月三日(火) 長崎市 二二
- 八月四日(水) 高知市 四六
- 八月五日(木) 岐阜市 九八
- 八月六日(金) 別府市 五〇
- 八月七日(土) 金沢市 二七
- 八月八日(日) 富山県 四七
- 八月九日(月) 松江市 五〇
- 八月十日(火) 静岡市 四六
- 八月十一日(水) 広島市 一七四
- 八月十二日(木) 四日市市 七九
- 八月十三日(金) 長崎市 五〇
- 八月十四日(土) 仙台市 五〇
- 八月十五日(日) 山形市 四〇

新任教員紹介

法科大学院教授 栗原 宏武
大阪府庁 平成十九年奈良地裁所長 栗原 宏武
東大阪地裁上席判事 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武

法科大学院教授 栗原 宏武
大阪府庁 平成十九年奈良地裁所長 栗原 宏武
東大阪地裁上席判事 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武

法科大学院教授 栗原 宏武
大阪府庁 平成十九年奈良地裁所長 栗原 宏武
東大阪地裁上席判事 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武

法科大学院教授 栗原 宏武
大阪府庁 平成十九年奈良地裁所長 栗原 宏武
東大阪地裁上席判事 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武
平成十二年大阪高学法院法学部 栗原 宏武

本学通信

交際受入研究者
北米学(中国)の曹祥
講師(九月二十一日)来年
二月二十日の予定で来学
法学部孝志夫教授受入れ
のも、国家を越えた多
国企業と国際関係に
ついて共同研究を行う、研
究者間の交流に努め、法学
部で講演会を開催する。
東北大学(中国)の趙新
軍副教授が九月二十七日
十二月十七日の予定で来
学。工学部山内信教授受
入れの、機械デザイン
と理論について共同研
究や実験実習を行う。

遼寧大学(中国)の曹祥
瑞副教授が十月一日、十一
月三十日の予定で来学。法
学部で講演会を開催する。
東北大学(中国)の趙新
軍副教授が九月二十七日
十二月十七日の予定で来
学。工学部山内信教授受
入れの、機械デザイン
と理論について共同研
究や実験実習を行う。

遼寧大学(中国)の曹祥
瑞副教授が十月一日、十一
月三十日の予定で来学。法
学部で講演会を開催する。
東北大学(中国)の趙新
軍副教授が九月二十七日
十二月十七日の予定で来
学。工学部山内信教授受
入れの、機械デザイン
と理論について共同研
究や実験実習を行う。

遼寧大学(中国)の曹祥
瑞副教授が十月一日、十一
月三十日の予定で来学。法
学部で講演会を開催する。
東北大学(中国)の趙新
軍副教授が九月二十七日
十二月十七日の予定で来
学。工学部山内信教授受
入れの、機械デザイン
と理論について共同研
究や実験実習を行う。

計報

上田連氏(つえだ)たつ
そう「名譽教
授」元社会学
部教授(九月十二
日)午前四時十五分に死
去。七十六歳。昭和二十七年
三月本学大学院経済学研究
科修士課程修了。昭和四十九
年三月本学法学部第四十九
年三月定退職。専門は中小
企業論。

経済学部は100周年を迎えました

関西法律学校の本科に経済学部の前身である経済学科の新設が認可されたのは1904年7月である。それは関西大学が総合大学への道を歩み始めた時でもあった。以来、経済学部は大恐慌と戦時体制の時代、そして戦後の新制大学としての再出発の時代を経ながら、

学部教育を拡充し、現在までに5万974人の卒業生を各界に送り出している。そこで、本号では経済学部100年の歴史を振り返るなかで、学部の今日的課題を考えたい。また、学の実化の一環として企画された国際シンポジウムと講演会の内容を紹介する。

経済学部創設100周年に寄せて

関西大学経済学部は、今年、創設100周年を迎えました。関西大学の前身である関西法律学校が1886(明治19)年に商部大阪に誕生したとき、最初に講義された科目は経済学でした。それから十八年後の1904(明治37)年7月に文部省の認可を得て経済学科が創設されました。これが経済学部の始まりです。



経済学部長 森岡 孝二

な企業ブームを経て一九〇一(明治三十四)年に八幡製鉄所が操業を開始するころまでの産業の発展を指しています。経済学部の創設は、日本資本主義が産業革命によって確立してきます。そのことを象徴しているのが一九〇四年に起きた日露戦争です。この年、与謝野晶子は明星「君死にたまふことなけれ」という詩を詠んでいます。日露開

戦を前にした一九〇三(明治三十六)年には、幸徳秋水、堺利彦らが非戦と社会主義を唱えて平民社を結成しました。これは当局の弾圧で一九〇五(明治三十八)年に解散させられましたが、日露戦争のころから大正末期にかけて、普通運動や労働運動の影響を受けて大正デモクラシーの思潮が広がっていきまし。経済学部の創設とその後発展の背景は、こういう動きもあってのことを見ておく必要があります。

日本の私立大学は国立大学(旧帝國大学)とそれほと離れた歴史を有していません。が、それまで専門学校令によって運営されていた私大が旧帝大と同等の資格を得たのは一九一八(大正七)年の大学令公布以降

九四八(昭和二十三年)に、学制改革により新制大学に移行すると同時に、経済学部が法・文・商の三学部とともに設置されました。ついでに大学院に連れられ、新制大学院が発足した一九五〇(昭和二十五)年に経済学研究所の修士課程が、また一九五三(昭和二十八)年に博士課程が設置されました。

学生数は、一九〇四年の経済学科創設時の第一期生は八十人でしたが、今日では一学生が約八百五十人、総数約三千五百人の学に出た関西大学経済学部の卒業生は五万人を超えています。それだけ多数の有為な人材が産業界を始め、各界で活躍している

九四八(昭和二十三年)に、学制改革により新制大学に移行すると同時に、経済学部が法・文・商の三学部とともに設置されました。ついでに大学院に連れられ、新制大学院が発足した一九五〇(昭和二十五)年に経済学研究所の修士課程が、また一九五三(昭和二十八)年に博士課程が設置されました。

最後になりましたが、経済学部創設100周年を記念して、本年十月十三日(第2学舎4号館(BIGホール))において、大田房江氏(大阪府知事)、南部靖之氏(株式会社バソナ代表取締役社長)、辻本一義氏(辻本特許事務所所長)をお迎えして、講演会「大阪発企業像・大阪産業界に向けて」を開催いたします。多数の在学生と卒業生のみなさんご来場をお待ちしています。

経済学部100年の歩み 1904 - 2004年 カリキュラムの変遷を中心にして

経済学部の誕生

1886(明治19)年11月、大阪西区の願宗寺に関西法律学校が誕生した。同年12月の開校時より、経済学の講義が重視され、野村診吉によってミルやフォーセツトなどのイギリス古典派経済学、手塚太郎によってケネー、セーなどのフランス経済学が講義された。大阪市西区江戸堀に2階建校舎を新築した関西法律学校は、1903(明治35)年11月、専門学校令による専門学校として認可を受けた。本科に経済学科が新設され、認可されたのは、1904(明治37)年7月であった。ここに経済学部は、産声をあげる。1905(明治38)年1月、関西法律学校は、私立関西大学と改称され、1906(明治39)年12月には北区上福島の福島舎に移転した。

大学への昇格と経済学部

私立関西大学は、1922(大正11)年6月5日、千里山に学舎が新設され、大学令によって大学に昇格する。1924(大正13)年4月、商学部が経済学科が設置されたが、同年8月、商学部は経済学部と改称され、商学学科と経済学科が設置されることになった。1929(昭和4)年には、2年以上の教育課程をもつ大学院(法文学部研究科、経済学部研究科)が設置されている。第二次世界大戦中、1942(昭和17)年には、商学学科は商学科と改称され、経済学部は再び経商部に改称された。また、1944(昭和19)年、商学科の廃止とともに、経済学1学科の経済学部に名称が変更されている。

経済学部関係年表

年月日	内容
1904(M37) 7.	本科に法律学科、経済学科認可
1905(M38) 1.	「私立関西大学」と改称。大学科に法律学科と経済学科を置く
1906(M39) 10.	大学科と専門科に商業学科の開設
1907(M40) 8.	学則改正によって大学部と専門部に分つ。大学部のなかで大学科と予科ができる。大学科のなかで法律、経済、商学科ができる
1911(M44) 4.	大学部、専門部の商業学科を高等商業学科に改称。高等商業学科を設置
1917(T6) 4.	専門部を専門科、専門部予科に分つ。専門部予科に法律予科、経済予科、高等商業予科を設置
1922(T11) 6.	大学令による昇格。商学部を設置
1924(T13) 4.	商学部が経済学科を増設。商学部を経済学部と改称。経済学科と商業学科に分つ
1935(S10) 4.	経済学部を経商部と改称し、経済学科と商業学科の学科課程改正(1942年商業学科を商学科と改称)
1944(S19) 4.	経商部部の商学科を廃止し、経済学部と改称
1948(S23) 3.	新制大学に経済学部設置
1950(S25) 11.1.	新制大学院の経済学研究科(修士課程)発足。経済学会「経済論叢」創刊
1953(S28) 4.	大学院経済学研究科に博士課程設置
1958(S33) 4.1.	経済学部発足
1968(S41) 2.15.	経済学部・商学部研究棟が竣工
1967(S42) 3.20.	第2学舎3号館竣工
1974(S49) 11.	経済学部祭開催
1978(S51) 11.	経済学部・商学部合同祭開催
1979(S54) 9.	経済学部、カリキュラム改正を実施。「経済論叢」経済学部創設50周年記念号発行
1980(S55) 12.	経済学会「経済学季報」を創刊
1986(S61) 4.2.	経商ゼミ棟、増築工事竣工式
1995(H7) 4.	経済学部カリキュラム3分野制導入
1998(H10) 4.	ゼミスター制導入
2003(H15) 4.	昼夜開講制導入

戦前期の経済学部の充実ぶり

関西大学において経済学の教育と研究に本格的な取り組みが行われるようになったのは、1921(大正10)年、宮島綱夫が経済学部教授として迎えられて以後のことである。5年後の1926(大正15)年には、大学部に所属した31人の教員の中で経済学関係の科目を担当していたのは、宮島綱夫、岩崎卯一(社会政策)、沖中恒幸(経済学、経済史、経済書研究)、小川郷太郎(財政学)、田辺信太郎(商業史、商業政策)、山村喬(工業政策)、森下政一(財政学、英語経済)であった。昭和恐慌の時代に、関西大学の充実が図られていった。この時期に採用された教授陣の中に、経済学部関係の担当者として、第二次世界大戦後の経済学部の建設に重要な役割を演じた正井敬次、水谷操一、森下政一、矢口孝次郎などが含まれていた。

新制大学への移行と経済学部の定礎

1948(昭和23)年3月、関西大学は、学校教育法による新制大学として認可され、法学部(第1部、第2部)、文学部(第1部、第2部)、経済学部(第1部、第2部)および商学部(第1部、第2部)の4学部体制で発足した。戦後の経済学部の専門教育科目は、主要科目にあたる第一類と関連科目にあたる第二類に区分され、以下のような構成で出発した。第一類には、経済学原論、経済史、経済政策、財政学、統計学、国際経済論、金融経済論、外国経済書購読(英、独、仏)、経済学演習が配当され、第二類には、経済学原論特殊研究、経済史特殊研究、財政学特殊研究、経済変動論、国際金融論、経営経済学、工業経済学、商業経済学、農業経済学、交通経済学、市場論、貨幣論、銀行信託論、保険経済論、会計学総論、簿記概論、日本経済史、日本産業論、経済地理学、外国経済事情、経済哲学、社会学、社会政策、社会思想史、新聞学、憲法、行政法(総論、各論)、民法、商法、国際法、会社法が配当されていた。関西大学が創立70周年を迎えた1956(昭和31)年より、経済学部の専門科目は、必修科目(英書、ドイツ書、フランス書)、第一類科目(経済学演習を含む主要科目)、第二類科目(関連科目)と区分されるようになった。

開かれた総合大学への道と経済学部教育

1960年代半ばの大学志願者の急増期を迎えた1964(昭和39)年には、経済学部の専門教育科目は、主要科目と関連科目に区分され、その後のカリキュラムの基本的な枠組みは、1973(昭和48)年まで維持された。ところで、1973(昭和48)年には経済学部の専門教育科目には、必修科目が定められ、選択科目は第1類と第2類に区分された。翌年には、これらの区分に加えて、選択科目は10種の科目群に分類された。経済学原論は、ままでに分けられ、経済学原論では近代経済学(ミクロ経済学とマクロ経済学)、経済学原論ではマルクス経済学が講義されることになった。また、10種の科目群の内訳は、第1群理論・統計、第2群金融・財政、第3群歴史・学術、第4群経済政策、第5群企業論、第6群社会政策、第7群国際経済、第8群経営・会計、第9群法律・その他、第10群特殊講義である。次いで、1979(昭和54)年のカリキュラム改正では、経済学部の専門教育科目は、必修科目と選択科目に

関西大学経済学部創設100周年記念国際シンポジウム・記念式典・講演会

S M E (中小企業)国際シンポジウム・Symposium on Small and Medium-sized Enterprises (100周年記念会館第1特別会議室)10時30分~12時30分
コーディネーター 田中 充 名誉教授

報告 崔 龍浩氏(韓国・慶北大学経済通商学部教授、韓国中小企業学会会長)
「アジア経済の発展と韓国中小企業」
報告 コルネリア シュトルツ氏(ドイツ・マルブルグ・フィリップス大学経済学部・日本研究センター教授)
「ヨーロッパ統合と中小企業 - 東アジアへの教訓 - 」

100周年記念式典(第2学舎4号館BIGホール100)13時30分~14時

講演会(第2学舎4号館BIGホール100)14時~16時30分
講演 南部 靖之氏(株式会社バソナ代表取締役社長)
「大阪産業界と起業家精神・夢が未来をつくる」
講演 辻本 一義氏(辻本特許事務所所長・弁理士)
「大阪の中小企業と知的財産権」
講演 太田 房江氏(大阪府知事)
「大阪・関西の再生」

大阪発企業像:大阪産業界に向けて

国際シンポジウムと講演会では、学の実化の一環として、中小企業の今日的課題と大阪発企業の将来像をテーマとした。午前中の国際シンポジウムでは、今日、国際的にも経済活性化に果たす中小企業の役割が着目されているなかで、韓国とドイツの中小企業研究者を招き、中小企業研究の国際的動向について討議する。崔龍浩氏は、アジア経済の発展のなかで韓国中小企業のおかれている現状について報告し、そのなかで、中小企業の技術基盤の育成など、直面する課題を提起する。また、コルネリア・シュトルツ氏の報告では、EU統合と東西ヨーロッパにわたる資本移動が中小企業に厳しい競争を強いる一方で、それが中小企業にとって新たな展開のチャンスとなりうることをデータをもって明らかにされる。午後の講演では、大阪発企業の将来像に迫ることによって大阪産業界の道を考える。学生時代に起業し、人材派遣会社としては初めて東証第1部上場を成し遂げた南部靖之氏が、独自の起業家論にもとづいて大阪産業界に果たす起業家精神の役割について話される。次に、辻本一義氏は弁理士としての経験をもとに、大阪の中小企業が特許・実用新案・商標などの知的財産権をいかに活用しているかについて豊富な実例をもとに話される。最後に、大阪府知事の太田房江氏はかねてから提起してこられた大阪産業界プログラムの内容を関西経済の再生という観点で話される。基盤型技術をもつ多くの中小企業が集積している大阪の産業界に向けた政策的課題が示されよう。講演会は大坂企業の将来像を問うものであり、学生諸君が自分の進路を考えるうえでも大いに参考になるものである。ぜひ参加していただきたい。

経済学部創設100周年記念事業実行委員長 安喜 博彦

区別され、経済学演習以外の選択科目は、多少の調整を経て10群に分類された。主たる改正点は、少人数教育を目指した基礎経済学への導入と経済学原論の区分名称の変更(IA, IB, IIA, IIB)であった。1980年代に入り、国際化と情報化の大きな流れが生じ、関西大学もそうした動きに対応を迫られる。また、1991(平成3)年の大学設置基準大綱化実施をひかえ、1980年代後半には、日本の各大学は、教学諸制度の改革への取り組み、入試制度や学生支援策の検討、大学イメージの向上をはかる諸戦略の構築など、多種多様な制度改革へ積極的に取り組む姿勢を示し始めた。こうした動きは、経済学部の教育と研究の改革に刺激を与えることになった。

関西大学の制度改革と経済学部教育の活性化

1990年代になって、経済学部を取り囲む教育と研究の環境変化の中で、学部教育のシステムを社会のニーズに対応できるように各種の改革が行われてきた。第2部の千里山キャンパスへの移転を前にして、経済学部ではカリキュラムの改革について議論が行われ、その結果、1995(平成7)年には、経済学部の専門科目は、基礎科目、選択必修科目、選択科目に分類され、経済学演習以外の選択科目には3分野制(「理論・政策分野」、「産業・国際分野」、「歴史・社会分野」)が導入された。少人数教育をめざし、学部学生に対する専任教員による指導を高める基礎科目としては基礎経済学、基礎経済英語、経済英語の3科目が設置され、それらは履修義務科目とされた。その他、経済学特殊講義などを配置した「分野共通科目」、商学部の関連科目を配置した「経営・会計系科目」、法学部の関連科目を配置した「法律・政治系科目」の各科目群が整備された。カリキュラム改革では、受け入れた学生にどのような教育を行うかについても検討された。関西大学では、専門教育と並んで基礎的な教養教育の改革に着手し、1997(平成9)年より教養改革(第2部では1998 平成10年)が実施され、教養科目は半期2単位かつテーマ付き

の科目となった。経済学部では、1998(平成10)年より専門科目の教育効果の向上を期待して独自に半期集中のセメスター制を導入した。2003(平成15)年、関西大学では、1世紀以上の歴史の中でこれまでにない思い切った教学体制の革新が行われた。それは、第1部および第2部を廃止し、全学で昼夜開講制(デイタイムコース、フレックスコース)が導入されたことである。こうした動きに対応して経済学部でもカリキュラムの改正を含めてさまざまな制度的革新が求められることになった。

新世紀経済学部のインバージョン

2003(平成15)年の昼夜開講制の実施にともなうカリキュラムの改革では、専門教育科目は共通科目、選択必修科目、選択科目に区分された。選択科目の3分野制における基礎教育を強化し、多様な学生のニーズに応え、経済学学習への動機付けを高めることであった。1年次生には、少人数の「経済学ワークショップ」が設けられ、経済学演習は2年次生から導入された。また、昼間主ではスペシャリストコースを設置して学部生が経済学を系統して学べる工夫をこらし、夜間主ではプロジェクトコースを設置して多様な学生のニーズに応え、学際的なテーマ別の学習ができ、経済学学習への動機付けを支援できるようにカリキュラムの改正が試みられた。それに先立って、経済学部では情報化社会に対応するべく情報処理科目を履修義務科目と、また、国際化へ対応すべく「アジア・太平洋経済論」、「アメリカ経済論」、「EU経済論」などが設置された。新世紀を迎え、また、学部創設100周年を迎えるにあたって、経済学部は、これからの100年を見通した教育研究システムの革新にむけて、数多くの課題に挑戦していくであろう。経済学部創設100周年記念誌編集委員会 北川 勝彦

平成 17 年度 学部入学生の学費について

大学取り巻く環境

現代は、「知の時代」と言われています。知の創造と継承が社会の発展の鍵となる時代を迎え、大学をはじめとする高等教育機関は、「新しい時代を支える」知の拠点として社会の要請に応え、教育研究活動を一層高度化、活性化させることが求められます。また、競争的環境の中で、多様にして特色ある教育・研究の推進が期待されており、

さらに、少子化による十八歳人口の減少に加え、国立大学の法人化、第三者による大学評制度の導入など、私立大学を取り巻く環境は、競争と評価が求められる極めて厳しい時代となっております。

関西大学の教育理念

この激変する時代の流れを的確に把握し、社会の期待に応え得る個性豊かな人材を育てるために、さまざまな施策を講じることは不可欠です。本学の教育理念である、「学の実化(じつげ)」、即ち「学理と実際の調和」をより一

平成 17 年度 学部入学生の学費

法・文・経済・商学部 (昼間主コース) 社会学部 (単位: 円)

年度	17春・17秋	18春・18秋	19春・19秋	20春・20秋	納付総額
区分	17秋・18春	18秋・19春	19秋・20春	20秋・21春	
(年次)	(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)	
入学金	260,000				260,000
授業料	670,000	705,000	740,000	775,000	2,890,000
教育充実費	140,000	150,000	160,000	170,000	620,000
合計	1,070,000	855,000	900,000	945,000	3,770,000

社会学部 (6年コース) (単位: 円)

年度	17春・17秋	18春・18秋	19春・19秋	20春・20秋	21春・21秋	22春・22秋	納付総額
区分	17秋・18春	18秋・19春	19秋・20春	20秋・21春	21秋・22春	22秋・23春	
(年次)	(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)	(5年次)	(6年次)	
入学金	260,000						260,000
授業料	440,000	456,000	473,000	490,000	507,000	524,000	2,890,000
教育充実費	140,000	150,000	160,000	170,000	170,000	170,000	960,000
合計	840,000	606,000	633,000	660,000	677,000	694,000	4,110,000

法・文・経済・商学部 (夜間主コース) (単位: 円)

年度	17春・17秋	18春・18秋	19春・19秋	20春・20秋	納付総額
区分	17秋・18春	18秋・19春	19秋・20春	20秋・21春	
(年次)	(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)	
入学金	210,000				210,000
授業料	536,000	564,000	592,000	620,000	2,312,000
教育充実費	112,000	120,000	128,000	136,000	496,000
合計	858,000	684,000	720,000	756,000	3,018,000

総合情報学部 (単位: 円)

年度	17春・17秋	18春・18秋	19春・19秋	20春・20秋	納付総額
区分	17秋・18春	18秋・19春	19秋・20春	20秋・21春	
(年次)	(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)	
入学金	260,000				260,000
授業料	851,000	894,000	938,000	981,000	3,664,000
教育充実費	224,000	237,000	250,000	263,000	974,000
実験実習料	90,000	90,000	90,000	90,000	360,000
合計	1,425,000	1,221,000	1,278,000	1,334,000	5,258,000

工学部 (単位: 円)

年度	17春・17秋	18春・18秋	19春・19秋	20春・20秋	納付総額
区分	17秋・18春	18秋・19春	19秋・20春	20秋・21春	
(年次)	(1年次)	(2年次)	(3年次)	(4年次)	
入学金	260,000				260,000
授業料	1,012,000	1,064,000	1,117,000	1,170,000	4,363,000
教育充実費	202,000	218,000	234,000	250,000	904,000
実験実習料	100,000	100,000	100,000	100,000	400,000
合計	1,574,000	1,382,000	1,451,000	1,520,000	5,927,000

(注) 1 入学金は、入学年度ののみ徴収する。
 2 4年を超えて在籍する者の学費は、4年次の学費を適用する。ただし、社会学部(6年コース)の場合、6年を超えて在籍する者の学費は、6年次の学費を適用する。

高度専門職業の養成
 本学は、こうした状況のもと、本年四月、「法科大学院」を開設し、優れた法曹多数養成に、社会へ輩出する体制を整えました。さらに、大学院改革の一環として平成十八年四月には、「会計専門職大学院(アカウンティングスクール)」の開設を企図しています。

二つ次に応える学部教育の改革のためにも、大学の使命である、「文明の継承」、「知の創造」、「人格の陶冶」の実現のため、絶え

「スーパースタート」の探求
 本年度、本学は、文部科学省国立情報学研究所が平成十四年から運用している「スーパースタート」事業の拠点校に採択されました。これは、世界最先端の研究用超高速ネットワークで、先端の学術研究分野を対象にした情報基盤として用いられており、私立大学としては、早稲田・同志社・慶應義塾と本学のみが採択されました。この最高の機会を捉え取りまして、世界に発信し得る研究体制の構築に着手しています。

学生支援のさらなる拡充
 就職サポートの強化
 学生のキャリア形成支援の徹底
 制度の導入、キャリアデザインシラームの設置など、「良識ある市民」として社会が受け入れられる学生を育成するための支援システムを提供しています。

国際的舞台上で活躍できる人材の育成
 国際化の分野でも、現在の十八

の協定を結ぶの拡大、海外語学セミナーの拡大、充実、デュアル・ディグリープログラムの推進等、国際性豊かな学生の育成をめざして、

多様な学生にジャストフィット
 創立百二十周年事業のメインとして「二二二」プロジェクトの創出をコンセプトとする、「総合学生

会館」の整備、学舎の刷新、学舎の充実など、学習環境の整備、奨学金の充実など、学生が自己の「二二二」を実現できるよう懸命な取り組みを行っています。

本学の財政
 本学が、科学技術の急速な進歩とグローバル化という新たな時代に即応し、今後とも、高等教育機関としての社会的責任を果たすためには、強固な財政基盤の確立が必要不可欠であります。

本学の財政状況は、ホムペー

ジヤ本紙で公開しているとおり、平成十五年度決算の翌年度繰越費支出超過額が約七億八千八百円円となっております。財政が現状のまま推移すれば、教育・研究に支障

をきたしかねない大変厳しい状況になることは必至であります。

一方、本学は、支出内容を厳しく見直し、経費削減をはじめ、限られた財源の中で、必要最小限の支出で最大の効果をもちたすよう「合理化・効率化」を推進してまいります。また、収入面では、国庫補助金や外部資金等の積極的な獲得、保有資産の有効活用、寄付募集の展開、事業収入の拡充など、もちろん、可能な限りの自助努力を行っております。

ご理解とご協力を
 このような本学の状況を踏まえ、昨今の経済、社会情勢や本学の今後の財政予測などを十分に考慮して慎重に検討いたしました結果、平成十七年度学部入学生の学費を左表のとおり改定することといたしました。

本来、学費は高等教育の機会均等という社会的義務から極力抑えなければなりません。が、今回の学費改定は、本学の私立大学としての存在意義を全うし、競争的環境の下にある本学の活力を維持するために、必要不可欠な措置でありま

す。

何卒みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成十六年九月十一日
 学校法人 関西大学

不法・迷惑駐車根絶へ

厳しい処分に対処

本学ではキャンパス周辺の環境保持および交通事故の防止を目的として、自動車・バイクによる通学を全面禁止しています。現在も教職員による迷惑駐車・駐輪巡回指導や、日常的に交通整理委員により対策を講じ、違反者に対する指導を続けています。

しかし、一部の非協力者による



不法迷惑駐車が後を絶たず、地域住民および関係官庁から強い抗議や厳しい苦情が連日大学に寄せられています。地域店舗などの業務妨害や、緊急車両の通行の妨げになっている場合があります。また、一部の学生のために開大生全体の印象が悪くなり、本学の名誉を著しく低下させてしまうことにもなりかねません。

このような状況を踏まえて、去る6月30日開催の交通問題対策委員会において、今後、自動車、バイクなどによる通学を行う者に対して、全学的に、学則に則り停学、退学を含む厳しい処分を臨むことへの承が得られました。不法・迷惑駐車根絶のため、学生諸君の協力を願わずにいられません。(交通問題対策委員会)

喫煙は指定の場所で

マナーを守る

受動喫煙の防止対策に努めるべくとした健康増進法が、平成十五年5月に施行されて以来、大学をはじめ病院や駅構内などにおいて喫煙を規制する動きが活発化してきています。

本学においても、学舎内での禁煙措置および生協でのたばこ販売を取り止める措置等を行ってまいりましたが、これだけでは喫煙を規制する措置がじゅうぶん徹底されているとは言えません。また、昨年度に実施した学生生活実態調査から、たばこを吸わない学生からの喫煙マナーに対する多くの苦情があり、早急に大学として、何らかの対策を講じる必要に迫られています。

そこで本学では、秋学期より「喫煙マナー」の向上をめざして、千里山キャンパス第1学舎、第2学舎、第3学舎および第4学舎周辺に喫煙場所を指定するとともに、スモークスタンドを新設しました。

この喫煙場所は、たばこのマークの入ったデザインが施された看板で指定されているので、すいぶん分かりやすくなっています。ただし、現在のところ看板で指定された喫煙場所は千里山キャンパス



において4か所しかないので、今後、生協の周辺、また高槻キャンパスにおいても喫煙場所を整備していく必要があり、順次計画的に進めていく予定です。

学生諸君は、くわえたばこやたばこのポイ捨てを止めることはもちろんのこと、この喫煙場所を利用するなどして、周りの人に対する喫煙マナーに配慮してください。(学生部)

理科離れを防ぐ——サイエンスセミナーを開催



工学部が主催するサイエンスセミナーが七月二十九日、三十日に開催された。両日の延べ参加者は、二百五十人程度であった。その内訳は、小学生が約四十五名、中学生が約四十五名、残りの約六十名が高校生、引率の先生を含めると参加者は三百人近くには達したはずである。

今回は化学工学科、応用化学科、教養化学教室の化学系の実験だけでなく、機械工学科、先端マテリアル工学科の実験だけでなく、機械系、電気系、情報系、電子系、物理系の協力を得て、物理系の実験プログラムに含めることができた。

交換派遣留学生の秋募集について

本学が交換協定大学十七ヶ国との間で一年間留学する学生を募集している。今年度から募集は春秋の二回実施となり、英語および中国語の大学は年一回応募する。この秋募集は十月十六日(水)開催の模様を近日中に動画配信予定である。HP: <http://www-maj1.yokoku.kansai-u.ac.jp/home/> 詳細は別添「フロンティア」に添付して通知する。問い合わせは、国際交流センター事務局(06-6368-1174) e-mail: kakusai@kansai-u.ac.jp

本年度は本学百二十年事業と博物館開設十周年を記念し、歴史博物館館長を講師に迎える。会場は天六キャンパス三〇〇〇円(テキスト代含む)。

日程	テーマ	講師
十月十五日(月)	古代シリアの歴史の裏面	宮部 隆
十月十六日(火)	イバト古文化日本	宮部 隆
十月十七日(水)	「夏王朝の成立」	宮部 隆

「公開講座」を開催
第159回
講師・徳常泰之(経済・政治研究所研究員・商学部助教)

秋の人権啓発行事 河野義行さんが講演

本学は教職員、学生をはじめすべての大学構成員のように入念に人権啓発活動を進め、理解を深める助けとなるよう、さまざまな活動を行っています。その一環として、毎年春と秋の二回開催している人権啓発行事があります。本年度秋の行事は来る十一月十五日、本学は教職員、学生をはじめすべての大学構成員のように入念に人権啓発活動を進め、理解を深める助けとなるよう、さまざまな活動を行っています。その一環として、毎年春と秋の二回開催している人権啓発行事があります。本年度秋の行事は来る十一月十五日、

および機械・システム工学科、都市環境工学科、先端情報電子工学科、電子工学科の協力を得て、物理系の実験プログラムに含めることができた。

本年度は本学百二十年事業と博物館開設十周年を記念し、歴史博物館館長を講師に迎える。会場は天六キャンパス三〇〇〇円(テキスト代含む)。

日程	テーマ	講師
十月十五日(月)	古代シリアの歴史の裏面	宮部 隆
十月十六日(火)	イバト古文化日本	宮部 隆
十月十七日(水)	「夏王朝の成立」	宮部 隆

「公開講座」を開催
第159回
講師・徳常泰之(経済・政治研究所研究員・商学部助教)

講演テーマ 報道と人権
松本サリン事件における報道被害
講師 河野 義行氏
日時・場所
11月15日(月) 14時40分~16時10分
高槻キャンパス 教室棟 TE ホール
11月16日(火) 10時40分~12時10分
千里山キャンパス 第3学舎 ソシオ AV 大ホール

本年度は、平成六年六月に長野県松本市で起きた松本サリン事件で、当初マスコミ等から容疑者扱いされ、その後無実が判明し、その体験を

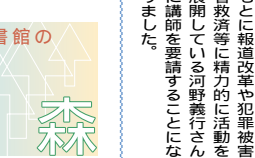
「新生田文庫の能楽資料」
文学部教授 関屋 俊彦
や、明末扇面画「一帖が含まれている。それらの紹介は機会を改めて行うこととして、今回、秀耕一父子の鬼書進・舞台之図・葛野九郎進・舞台之図・物

本に絞る。一昨年秋の奇しき縁から関係者各位の協力を得る。観世黒書系諸本・中興書に明応・永正の年号を

日程	テーマ	講師
十月十五日(月)	本学推進学生、関西大学文化研究所長	関西大学博物館副館長 柳井 善教
十月十六日(火)	岩橋千穂、橋見裕	関西大学博物館 代館長 関田 香織
十月十七日(水)	「山田さく」	関西大学博物館 代館長 関田 香織

「受賞」
日本接着学会第四十二回年次大会 学芸賞
工学部教授 越智 光一 (七月十七日受賞)
大学院工学研究科 M2 中森 謙彦 (七月十八日受賞)
IEEJ主催 2004 International Meeting for Future of Electron (十月十七日受賞)

研究会 学術賞
外国語教育研究機構教授 竹内 理 (九四四日受賞)



小説を書いた。自宅には茶室兼書斎もあつたと言われる。子息耕一(昭和八年没)とよその蘭蘭(寛文、万葉集)の難語研究の一方で、山崎宗室と、鼓角の鑑定、二卷

本に絞る。一昨年秋の奇しき縁から関係者各位の協力を得る。観世黒書系諸本・中興書に明応・永正の年号を

日程	テーマ	講師
十月十五日(月)	本学推進学生、関西大学文化研究所長	関西大学博物館副館長 柳井 善教
十月十六日(火)	岩橋千穂、橋見裕	関西大学博物館 代館長 関田 香織
十月十七日(水)	「山田さく」	関西大学博物館 代館長 関田 香織

「受賞」
日本接着学会第四十二回年次大会 学芸賞
工学部教授 越智 光一 (七月十七日受賞)
大学院工学研究科 M2 中森 謙彦 (七月十八日受賞)
IEEJ主催 2004 International Meeting for Future of Electron (十月十七日受賞)

研究会 学術賞
外国語教育研究機構教授 竹内 理 (九四四日受賞)

関大通信 第320号

平成16年(2004年)10月15日
大阪府吹田市山手町3 3 35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は11月26日発行の予定です

秋たけなわ 小さい旅 みつけた

暑かった夏休みが終わり、いよいよ勉強の秋と心を入れ替えて机に向かいかけたたん、今度は食欲の秋、行楽の秋と楽しい誘いの手が伸びてきます。観光地を巡り、グルメを楽しむ旅行もよいかもかもしれませんが、ガイドブックにはあまり紹介されていない穴場にも魅力的なところがあります。そんな小さな旅のお薦めスポットをサークルの方々に紹介していただきました。みなさんも秋を満喫しに一度訪れてみてはいかがでしょうか。(伊藤 淳志)

京都散策会

京都のすばらしいところを感心してください

僕たちのサークルは、春と秋の二回、班を作って京都を散策しています。その他にも夏と秋には京都以外のところにも旅行をしています。ガイドブックに載っていないような有名なところもいろいろ見て回りますが、そのよみものにも載っていないようなきれいなところもいろいろ、秋なら紅葉のきれいなところなども見つけています。

例年、秋に紅葉を見て回るのなら、清水寺の舞台の上から見るのもいいですが、清水の舞台の横から舞台を一望できる場所があり、そこから見る紅葉も舞と清水寺を包み込むような感じになっていて、とてもきれいです。そのほかには一年中鈴虫がいて、お坊さんのあがたいお話が聞けます。ここは紅葉を見に行きたいよりは、春や秋の暑い日になりに行くとき虫の鳴き声がかんざり涼しい気持ちにさせてくれます。

トロッコ列車の嵐山駅から野宮神社に向かう道には嵯峨野竹林と呼ばれる竹林があるのですが、ここは春、秋のどちらに行っても自然のすばらしさが体験できると思います。野宮神社は有名ですが、この竹林を一度通った人はもう一度通りたいくなるんじゃないかと思うくらい、すばらしいところです。

ここにあげた以外にもかかれた名所はいろいろありますので、自分たちでいろいろある場所を探しながら京都を見て回ってください。この文を見て、京都に少しでも興味を持ってもらえればうれしいかぎりです。

(工学部3年次生 内藤 俊)



自転車で大自然を満喫 高知県四万川

樹々の紅葉も日ごとに深まる季節となり、いよいよ秋本番です。そんな時期に、私たちのサークル Cycle Training Club は少し足を伸ばして四国まで行ってきました。その一部を紹介します。

みなさんは高知県の四万川という川をご存知でしょうか。日本に残された最後の清流と呼ばれている川です。今回は、その中でもあまり知られていない「四万川(源流点)」に自転車で訪れてみました。源流点は主要道から少し離れた場所にあるため、公共交通機関などがありません。そのため訪れる観光客も少なく、大自然がそのまま残されているのです。

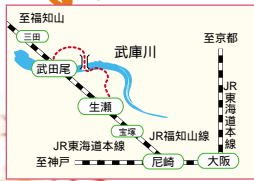
その主要道から山道へ5分、木舗路を5分、さらにそこから二十分ほど溪流を登ったところに源流点があります。周りの木々は色づき、水の流れだけが聞こえてきます。岩の間から湧く源の水を口に含めると、それまでの行程で疲れをすくりにフレッシュしてくれました。

見知らぬ土地に赴き、見知らぬものに触れる。それが旅の醍醐味ではないかと私は考えています。そんな旅の手段に自転車を使ってみると、自然をより身近に感じることができると思えます。この秋は、自転車で乗ってそこをぶらり探訪してみませんか。

(工学部3年次生 山下 皓士)



サイクルツーリングクラブ



から線路(若しくは横の道路)を通るのですが、そこからの景色もとてもきれいです。また長いトンネルがいくつかあり、中は少し肌寒く、懐中電灯がなければ何も見えないほど暗いです。一番長いトンネルは約100分もあります。



この期間、町には踊りに向かう人たちの下駄が擦れる「カッパカッパ」といっ音があちらこちら響きわたる。しかし踊りのシーツが過ぎた町に秋が訪れると、今度は下駄の音に変わって水の流れるかすかな音がきこえるようになる。郡上八幡は水の町としても知られ、城下町の趣を残す町内を縦横に走る水路には今も美しい水が絶えず流れて、町に住むひと々の生活用水として利用されている。また室町時代の連歌の茶室として知られる飯尾茶寮が愛飲していたことから、茶紙水と名づけられた湧き水は名水百選にも選ばれ、これら豊富な湧き水を活かしたお蕎麦屋が町の名物になっている。

(文芸部3年次生 川上 麻妃)

景色を楽しみながら歩く 兵庫県西宮市・宝塚市

私たちがハイキング同好会は、年に何回か近畿圏でハイキングに行きます。特におすすめは、兵庫県西宮市の生瀬駅か国道一七六号線を少し歩いたところにある、JR旧福知山線廃線跡を武田尾駅まで歩くコースです。雑誌やテレビで紹介されることがある有名なコースのようですが、きっと知らない人も多いと思います。休憩をはさんで約三時間ほど歩く距離で、右手には武庫川を眺めながらゆつくり景色を楽しんで歩けます。廃線跡ということで道には枕木が続いており、鉄橋も渡ります。鉄橋は残念ながら



「芸術の秋」に触れる 岐阜県郡上八幡

歌い手の声、お囃子に合わせ若い人からお年寄りまで空が白々と響けるまで踊り続ける「日本三民謡」の秋、郡上八幡で「芸術の秋」に触れるの地として有名な郡上八幡は、七月初めからの二カ月間、地元の人だけでなく、待ちわびた全国の踊りファンによって郡上踊り一色の町となる。



美術館」などでは、郡上八幡出身の作家の作品を見ることができ、またこの地の産業である食品サンブルを取り上げた施設「サンブル工房」では、実際に自分で食品サンブルを作ることもできる。関西からは少し長旅になってしまいが、この秋、郡上八幡で「芸術の秋」に触れてみてはいかがでしょうか。

(商学部2年次生 龜谷 篤司)



編集後記

書く、台風が来た。夏、オリンピック観戦で遅不足となった夏も終わり秋学期が始まった。始まったというよりも、まっただ中というよりも、思いを抱いている人たちが多いためである。夏休み前にはあのようなこと、このようなことをしようと考えていたこと、半分も出来なかったという思いは、毎年恒例となった感さえる。みなさんの夏休みはいかがだったでしょうか。